

1月10日：ベトナム株はまちまちの展開

いくつかの大型株が上昇したが、午後に入り売り圧力が高まったことで、ベトナム株は下落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.08%安の1,053.35ポイントで取引を終えた。月曜日には0.3%ほど上昇していた。

流動性は改善、前日比15%ほど増加し9.7兆ドン、5.46億株となった。

銀行株はまちまち、ベトコムバンク（VCB）、BIDV(BID)、アジアコマーシャル銀行（ACB）、サコムバンク（STB）、マリタイムバンク（MSN）などが上昇、ベティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、VPバンク（VPB）などが主な下落銘柄だった。公共投資、建設関連株が火曜日に注目された。

HHV、LCG、VCG、FCNといった銘柄がストップ高まで上昇した。

上昇は建設資材にまで広がり、ホアファットグループ（HPG）、ホアセングループ（HSG）、ナムキムグループ（NKG）などが1-3%上昇した。

ロンベト証券によると、VN指数が1,065ポイントに近づくと上昇の勢いが弱まり、指数が下落した。

そのため、1,065-1,078ポイントが抵抗線となっており、指数は最近の上昇後の値固めに入るかもしれないと同社は予想した。また、投資家には抵抗線に近づいた際にはポートフォリオの調整をして、リスクを減らすべきだと勧めた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.46%高の210.63ポイントで取引を終えた。

流動性はこちらも改善し出来高は5,300万株だった。

外国人投資家は買い越しだった。両市場合計で4,660億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。